

基 本 調 査 票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 7 年 8 月 5 日			
設置・運営主体	社会福祉法人 和みの会		
設置主体			
経営主体	社会福祉法人 和みの会		
事業所名 (施設名)	ゆうゆうくじら保育園	種別	保育所
所在地	362-0021 上尾市原市3870-1		
電 話	048-721-3781		
FAX	048-721-3901		
Email	info@yuyukujira.com		
U R L	https://yuyukujira.com		
施設長氏名	本田直子		
調査対応担当者	本田直子 (所属、職名： 園長)		
利用定員	120 名	開設年	平成 19 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
<p>ゆっくりと うけいれて ゆっくりと うなずいて くまなく じっくり らしさをはぐくみます 知育・徳育・体育・食育 ＜基本方針＞ ・心身の成長を促し、育み、共に分かち合う ・年齢に応じた基本的生活習慣の確立をめざす</p>			
開所時間 (通所施設のみ)	7 : 00～19 : 30		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定 員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	8	8	1	8	3
1歳児	20	20	2	10	6
2歳児	20	20	1	20	4
3歳児	24	24	1	20	2
4歳児	24	24	1	20	2
5歳児	24	24	1	20	2
計	120	120	7		
（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。					

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		23 人			
うち	保育士	18	人	保健師・看護師	1 人
	栄養士・調理員	2	人	その他（	） 2 人
非常勤職員数		27 人	（常勤換算 10.4 人）		
うち	保育士	10 人	（常勤換算		6.6 人）
	保健師・看護師	0 人	（常勤換算		人）
	栄養士・調理員	3 人	（常勤換算		1 人）
	その他（	子育て支援員	） 14 人	（常勤換算 3.7 人）	
（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。					
（２）前年度採用・退職の状況	採用	常勤：	3 人	非常勤：	3 人
	退職	常勤：	2 人	非常勤：	3 人
（３）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢				42.5 歳	（ 歳）
（４）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数				11 年	（ 年）
（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。					

【本来事業に併設して行っている事業】

（保育所の場合）

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	無料
延長保育	○	（15分）50円～
休日保育		
障害児保育	○	無料
一時保育	○	半日2000円～3000円
地域子育て支援センター	○	無料
乳幼児健康支援一時預かり事業（病後児保育）	○	市内2000円・市街4000円
アレルギー等対応給食	○	無料
その他（事業名： ）		
（注）実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。		

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・令和 6 年度におけるボランティアの受け入れ数（延べ人数）

25 人

・ボランティアの業務

保育のお手伝い、給食おやつの介助・掃除。子ども達と過ごし、遊びながら成長していく様子を感じ取り、かかわりの中から、自分も大きくなるまでの成長過程で、大切に育てられたことを実感し、保育士のかかわりの様子を観察しながら、育てる仕事としての大変さや大切さを体得する。

【実習生の受け入れ】

・令和 6 年度における実習生の受け入れ数（実数）

社会福祉士 人

介護福祉士 人

その他（保育士） 3 人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	1190.13 m ²		
	児童 1 人あたり	9.91 m ² (計算式 : 建物延べ床面積合計 ÷ 定員)	
(2) 園庭面積	834.52 m ²		
	児童 1 人あたり	6.95 m ² (計算式 : 園庭面積合計 ÷ 定員)	
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい	<input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい	<input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築 (含大改築) 年	2007 年		

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

登校園・連絡帳等のシステムを導入後、タイムリーに緊急のお知らせや、保育の内容を保護者に伝えているので、行き違いなどがなくなり、子どもの様子など丁寧に対応することを心がけている。事務所は保護者が必ず通る所に、オープンスペースにあるため、疑問に思う事は気軽に声かけできるムードがあるので、ちょっといいですか？と立ち寄れる。お迎えの際には、保育者が子どもの様子を丁寧に伝えていることで、安心感がある。

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

保育理念には、知育・徳育・体育・食育を大切に保育に取り組んでいる。
令和7年度より、以上児は“英語あそび”“音楽あそび”を開始し、茶道・体操教室と合わせて無理の無いようプログラムを組んでいます。近くには“くじらファーム”がありクラスの育てている野菜を観察したり収穫したり、給食で味わったり、4・5歳児は収穫した野菜でクッキングも体験しています。特に、じゃが芋掘りとさつま芋掘りは、ダイナミックに年長児が取り組みます。この夏はスイカが大豊作だったので各クラスでスイカ割をして楽しみました。様々な経験の中から、自分の好きなことや友達とのかかわりを感じ取っている。
園庭は中庭があり、未満児は芝生の中庭でタープを張り素足で水遊び・シャボン玉を楽しんでいる。兄弟の子が多いので子ども同士も縦割り保育異年齢児交流「くじらっこ」以上児は、好きな遊びに集中して遊ぶ「ワクワクタイム」を定期的に行っている。
職員は、合同保育や行事の際にかかわりを多く持っている所以で子どもの様子や名前を共有出来ている。地域にとって必要な、病後児保育事業と子育て支援センターを併設している為、保護者から信頼され頼りにされている。

【第三者評価の受審状況】

・受審回数（前回の受審時期）

1 回 （令和 2 年度）